



CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

期待の大動脈が開通

3月19日、上武道路の3.5kmの未開通区間が開通。上武道路が全線開通し、40.5kmが1本の道でつながりました。開通セレモニーには歴史的瞬間を見届けようと多くの人出が。この開通で地域活性化や観光振興など、多くの効果が期待されます。

手話への理解が深まる

総合福祉会館で3月11日に手話言語条例制定記念フォーラムを開催。NHK手話ニュースキャスターの中野佐世子さんの講演や県立聾学校のダンスパフォーマンスのほか、フィナーレには参加者全員で手話コーラスを行うなど、手話への理解を深めました。



助け合いの社会学ぶ

3月21日に総合福祉会館で、ささえあいの芽を育むシンポジウムを開催しました。県社会福祉協議会の中越信一さんが基調講演し、地域の福祉力を高めるポイントを解説。各地区の事例を発表するリレートークでは活発に活動する団体が次々に登壇しました。



85の国と地域から約2万点の応募があった世界子ども図画コンテストで、祭りの様子を描いた絵が銅賞を受賞した。「びっくりしました。時間をかけて頑張った絵だからよかったです」
楽しそうに絵を描く奏良さんを見た両親が、3歳の頃、絵画教室の体験に連れて行っただが、3時間ほど描いていたという。その後、絵画教室に週1回通っているが、自宅でも時間があれば描いている。「飛行機、船、電車、観光バスとかの乗り物の絵が好き。空想しながら、ずっと描いていられます」

周囲からは描く際の集中力が高く評価されていて、これまでも全国規模のものを含め、さまざまな賞を受賞してきた。将来は電車のデザインに携わることを夢見ている。「豪華列車とか、乗って楽しくなるような電車をデザインしたいです」
絵画教室以外に英会話教室やスイミングスクールに通い、それぞれ楽しんでる。「好きなものを伸ばしたいと考えています。絵もまずは楽しんで描いてほしいですね」と母親の友美さん。
さまざまな可能性を秘める奏良さん。これからどんな未来を描いていくだろうか。



さまざまな花の風味を味わってみてください。

自然豊かな赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は「ハチミツ（アカシア、カキ、クリ）」を紹介します。
赤城南麓の荻窪町などに点在する前橋養蜂園の養蜂場。自然の恵みあふれる環境で育つ蜂が、季節や場所により、いろいろな花の蜜を集めます。

アカシア蜜は酸味と甘みのバランスが良く、すっきりとした味わい特徴です。柿花蜜はあっさりとした上品な味で、数年に一度しか取れない貴重品。栗花蜜は花独特の香りと渋みを感じられます。個性豊かな味わいのハチミツ。どれも最後まで味わってもらえるよう、昔ながらの瓶詰めにしていきます。
そのまま味の違いを楽しむだけでなく、コーヒーやヨーグルトに混ぜていただくのもお勧めです。

いきいき
まえばし人
今井奏良さん・8歳
絵画の国際コンテストで入賞
永明小

好きなことを楽しく



赤城の恵ブランド
ハチミツ
(アカシア、カキ、クリ)

vol. 45



問前橋養蜂園 ☎027-269-1926